

7月例会のおさそい

今年も小峰さんと小山田緑地で、「虫」さがし

小山田緑地は、北の梅木窪をはじめとする3つの分園と南の本園があり、面積は約40万平方メートルほどの広大な都立公園です。今回訪れるのはそのうち、本園です。

ここには、コナラ、ニセアカシアの林や竹林があったり、アサザ、ヨシ、ガマの生えている池や小川もあったり、ザリガニ、カエル、ヤゴなどの水棲生物が見られます。昆虫では、さまざまなトンボ、チョウ、コガネムシ、カマキリ、カブトムシが見られ、クモは80種類が記録されています。鳥も種類が多く、自然がとてもゆたかです。

この本園だけでも、たくさんの生きものたちに出会えるでしょう。珍しい生き物に会えるかもしれません、ひょっとするとカワセミが魚を捕るところも見られるでしょう。

子どもたちといっしょに、初夏の1日を自然観察で楽しみましょう。

7月19日（日）8:30 小田急線「町田」駅／西口改札口集合

その後バスセンター12番にて、神奈川交通27番小山田行きバス
8時50分発に乗り、「大泉寺」下車、徒歩8分

観察場所：小山田緑地公園

講師：小峰光弘さん(会員)、高柳芳恵さん(会員)

持ち物：図鑑、虫眼鏡など、お弁当、飲み水、長そで長ズボンと運動靴で

参加費：一家族 500円(会員)、1000円(一般)

申し込み締め切り日：7月12日(保険に入るため)

但し、19日朝6時の降水確率が30%以上の場合、20日(月・休)に延期します。

★観察会で役に立つ本 (*は、P18・19に小峰さんの紹介があります！)

* 『クモハンドブック』文一総合出版／2015

「クモをみつけよう」<月刊かがくのとも1月号 通巻550号>福音館書店／2015.1

* 「クモと糸」<月刊たぐさんのふしぎ3月号>福音館書店／2015.3

『おどろきのクモの世界』 誠文堂新光社

『いもむしハンドブック 1,2』 『朽ち木にあつまる虫ハンドブック』

『樹液に集まる昆虫ハンドブック』 『昆虫の食草・食樹ハンドブック』

『チョウ・バタ・セミ』 日本の昆虫1400(1) <ポケット図鑑>

『トンボ・コウチュウ・ハチ』 日本の昆虫1400(2) <ポケット図鑑>

以上、文一総合出版

